

三菱電機 **ビル空調** フリープランシステム
ロスナイリモコン
形名

PZ-N52SF

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この説明書はリモコンの据付けについてのみ記載しております。ロスナイ本体への配線およびロスナイ本体の据付方法に関してはロスナイ本体の据付工事説明書をご覧ください。
また、安全のためこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。
お読みになった後は、取扱説明書とともに、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。移設・修理の時は工事をされるかたに、またお使いになるかたが代わる場合は、新しくお使いになるかたにお渡しください。

別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。

安全のために必ず守ること

● 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

 警告		誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	
 分解禁止	改造・必要以上の分解はしない 改造したり、修理に不備があると感電・火災等の原因になります	 指示に従い必ず行う	配線は所定のリモコンコードを使用して確実に接続し、端子接続部にリモコンコードの外力が伝わらないように固定する 接続や固定が不完全な場合は、発熱・火災等の原因になります
	据付けは、販売店または専門業者に依頼する お客さま自身で据付工事をされ不備があると感電・火災等の原因になります		
据付けは、質量に十分耐えるところに確実に行う 強度が不足している場合は、本機の落下により、けがの原因になります			
据付工事は、この説明書に従い確実にを行う 据付けに不備があると、感電・火災等の原因になります			

 注意		誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの	
 禁止	可燃性ガスの漏れるおそれのある場所へ据付けない 万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火・爆発の原因になることがあります	 ぬれ手禁止	濡れた手でボタンを操作しない 感電、故障の原因になることがあります
	特殊環境には使用しない 油(機械油を含む)、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと、性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります		
	酸性・アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等を頻繁に使用するところへ据付けない 感電・故障の原因になることがあります	 風呂・シャワー室での使用禁止	浴室・厨房など大量の湯気が発生するところには据付けない 壁が結露するような場所は避けてください感電、故障の原因になることがあります
	基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない 火災・故障の原因になることがあります		
	ボタンを先のとがったもので押さない 感電、故障の原因になることがあります	 指示に従い必ず行う	病院、通信事業所などに据付ける場合は、ノイズに対する備えを十分に行う インバーター機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤動作や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります
	AC100VやAC200Vは絶対に印加しない。 本機への印加電圧は最大でDC30Vです 破壊、発火、火災の原因になることがあります		
本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない 火災、故障の原因になることがあります			
本機を水洗いしない 感電、故障の原因になることがあります			
 水ぬれ禁止	配線は張力がかからないように配線工事を行う 断線したり、発熱、火災の原因になることがあります	リモコンコード引込み口をパテで確実にシールする 霧、水、ゴキブリ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因になることがあります	
	リモコンコードは電流容量に合った、規格品の電線を使用する 漏電や発熱、火災の原因になることがあります		

部品確認

箱の中には、この説明書のほかに次の部品が入っていますのでご確認ください。

- ロスナイリモコン……………1個
- 十字穴つきナベネジ……………2本
- 取扱説明書……………1枚

お願い

- 下記に示す部品は現地手配となります。
- (1) リモコン～ロスナイ間リモコンコード

種類	2芯シールド線(MVVS)	
太さ	単線	φ0.7～φ1.2
	撚線	0.75mm ² ～1.25mm ²

- (2) スイッチボックス : JIS C 8340 1個用(埋込配線用/カバーあり)

リモコン接続台数の制約

集中コントローラやシステムリモコンと合わせて、ロスナイだけのシステムを構成する時、使用する伝送線用給電ユニットにより接続できるリモコンの数に制約があります。下記台数を超えて使用する場合は伝送線用給電拡張ユニット(PAC-SF46EP)を使用してください。

システムコントローラ 給電ユニット・拡張コントローラ		システム コントローラ 未接続	集中コントローラ 1台接続時 (同一系統内で 複数接続は不可)		システムリモコン PAC-SF44SR または スケジュールタイマー PAC-YT34ST 1台接続時	ON/OFFリモコン PAC-YT40ANR 1台接続時
			G-50	G-150AD		
伝送線用給電ユニット	PAC-SC51KU	20台以下	8台以下	18台以下	18台以下	16台以下
伝送線用給電拡張ユニット	PAC-SF46EP	40台以下	39台以下		39台以下	39台以下
拡張コントローラ	PAC-YG50EC	24台以下	—		22台以下	20台以下

※上記表内の値は、以下の計算式で求められます。

給電ユニット (PAC-SC51KU) の場合

$$\text{リモコン接続台数} = 20 - (\text{システムリモコン台数}) \times 2 - (\text{スケジュールタイマーの台数}) \times 2 - (\text{ON/OFFリモコン台数}) \times 4 - (\text{集中コントローラ(G-50)台数}) \times 12 - (\text{集中コントローラ(G-150)台数}) \times 2$$

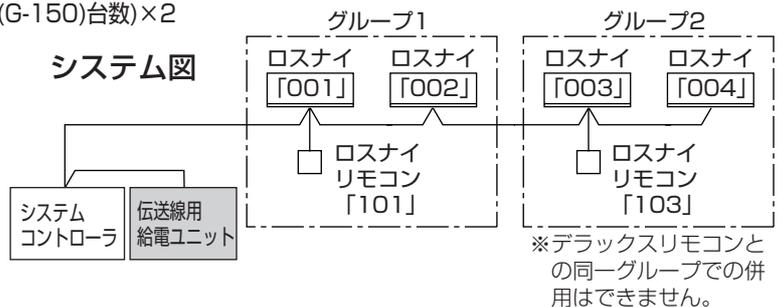
給電拡張ユニット (PAC-SF46EP) の場合

システムコントローラを2台以上使用の場合は、伝送線用給電拡張ユニットの取扱説明書をご覧ください。

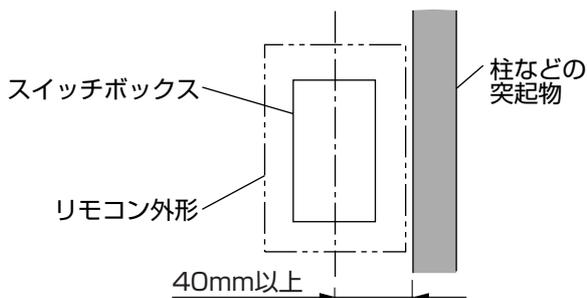
- ロスナイだけのシステムを構成するとき、伝送線用給電拡張ユニットが必ず必要です。

※室外機から給電させる場合は必要ありません。

システム図



据付方法



スイッチボックスの据付け

1. 1個用スイッチボックス(現地手配)を用意し、左図のように据付ける。

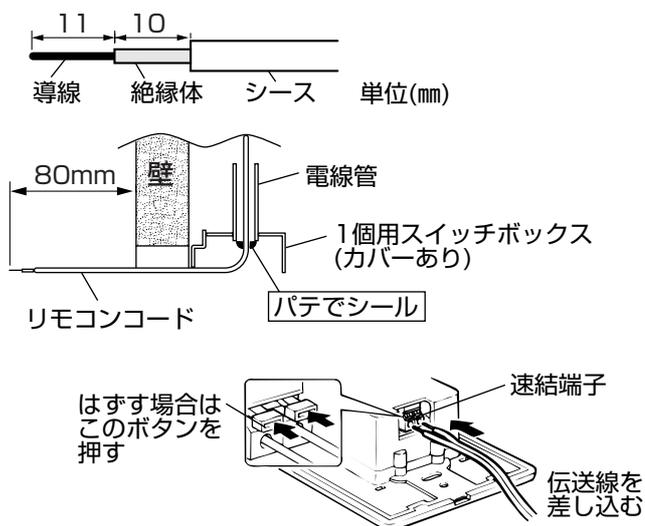
お願い

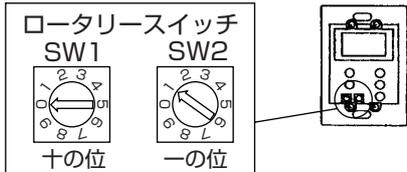
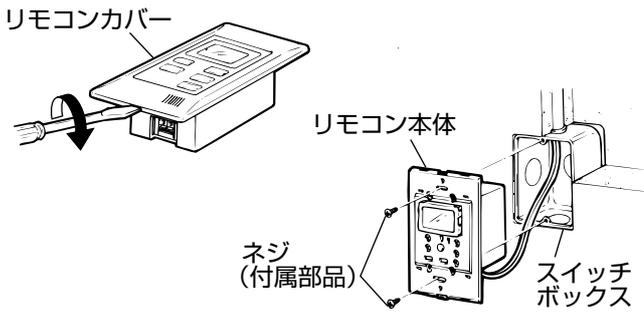
- 据付けの際、左図のような間隔を確保してください。(柱などの突起物との間隔を考慮ください)
- リモコン下部にドライバーの入るスペース(120mm以上)を確保してください。

2. 薄鋼電線管(JIS C 8305)、ロックナット/ブッシング(JIS C 8330)も合わせて現地にて調達する。

リモコンコードの配線

1. リモコンコードを壁面より約80mm出して、先端を11mm皮むきする。
2. 電線管より虫侵入による故障あるいは、外気侵入によるリモコン基板の表面結露を防止するため、パテで確実にシールする。
 - 確実にしないと、リモコン基板の故障の原因となることがあります。
3. リモコン本体の裏面下部にある端子台へリモコンコードを差し込む。
 - リモコンコードに極性はありせん。
 - リモコンコードが撚線の場合は、端子台のボタンを押しなが差し込んでください。
 - 本端子台は差し込むだけで結線がなされます。
 - リモコンコードを取りはずす場合は、端子台のボタンを押しながリモコンコードを引っ張り、はずしてください。
 - 端子台へリモコンコードを差し込んだ後、はずれないか引っ張って確認してください。確実に接続されていないと断線、動作不良の原因となります。





■設定範囲…101～200まで設定可能
 ロータリースイッチ SW1は十の位、SW2は一の位を示します。
 なお、百の位は下記のように自動的に設定されます。

ロータリースイッチの設定	リモコンアドレス
01～99	101～199
00	200

リモコンの据付け

1. リモコンカバーをマイナスドライバーで取りはずし、リモコン本体を付属の十字穴つきM4ナベネジ(2本)でスイッチボックスに固定する。
 - 先端部幅5mm程度のマイナスドライバーをご使用ください。
- お願い**
- 据付面は平らなところをお選びください。
 - スイッチボックスへの据付けは必ず2か所を固定してください。

注意

- 先端部幅4mm以下の小さなドライバーで無理にこじあけない(傷つきや破壊の原因になります)
- ドライバーを切り欠きに差し込んだ状態でカバーを持ち上げない(爪が壊れてしまうことがあります)
- ネジを締めすぎない(ケースの変形、割れの原因になります)

2. リモコン前面にあるロータリースイッチSW1, SW2でリモコンのアドレスを設定する。

お願い

- リモコンアドレスの設定は、システムを構成するうえで、必ず設定する必要があります。システム構成に基づいた設定を行ってください。
 (グループ設定は集中コントロール等の上位システムがある場合は上位コントローラでアドレス登録を行い、ロスナイリモコンのみの場合はリモコンで登録を行う)

リモコンカバーの取付け

- リモコンアドレスの設定が終了したらリモコンカバーを取付ける。
- リモコンカバーの取付けは上部爪(2か所)を先に引っ掛け下部を押し込んでからはめ込みます。先に下部をはめてからでは、上部爪は引っ掛りません。無理にはめ込むと爪折れの原因になります。

注意

- “パチッ”と音がするまで確実にはめ込む
 (確実にはまってない場合、落下のおそれがあります)

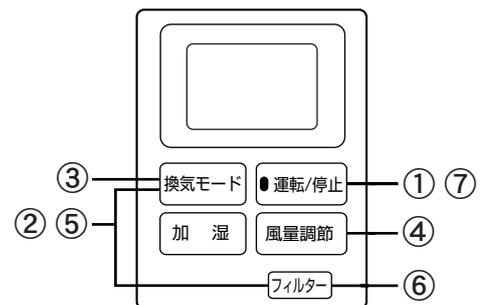
リモコンによるロスナイ登録方法

(初期登録モード操作)

グループを構成する場合、リモコンによるロスナイ登録が必要となります。上位システムコントローラ(集中コントローラ、システムリモコン、スケジュールタイマー、ON/OFFリモコン)を使用するシステムでは、上位システムコントローラで、グループ設定を行ってください。このときロスナイリモコンのアドレスも必ず登録してください。上位システムコントローラを使用しない場合のロスナイ登録は、以下の初期登録モードにて行ってください。また、初期登録モードでは、グループへ登録されたロスナイ検索や、登録抹消もできます。なお、本リモコンではロスナイと空調機の運動設定はできません。(上位システムでの詳細な登録については、各コントローラの取付工事説明書等を参照ください) 下図で示す①～⑦は操作手順を表しています。

登録のしかた

- ① 停止する。
 (「HO」点滅中の場合は、その状態のまま、以下の操作を行います)
- ② **換気モード** **フィルター** ボタンを同時に2秒以上押し続ける。
 これにより、初期登録モードとなり、自己アドレス点滅となります。



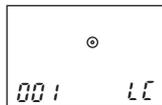
- ③ 上記画面にて、本リモコンに登録したいロスナイのアドレスを **換気モード** ボタンにて呼び出す。

- アドレスは下記のように1度押すとリモコンアドレス表示からロスナイアドレス表示に切り換わり、さらに押すとロスナイアドレスが+1されます。また、押し続ければ早送りされます。

「101」→「---」→「001」→「002」→→→「098」→「099」
 (設定自己アドレス) ↑ 点滅

リモコンによるロスナイ登録方法 つづき

- ④登録したいロスナイのアドレスが表示されている状態で **風量調節** ボタンを押すと登録処理を開始します。正常登録処理により、下記画面となります。



ロスナイの属性「LL」または加熱加湿付ロスナイの属性「LH」が表示されます

- 正常終了できない場合は、属性表示部に「88」が点滅表示されます。ロスナイの設定アドレスを再確認あるいは配線確認してください。加熱加湿付ロスナイの場合は本体の属性設定スイッチ(SW3-1)をONにしてください。ロスナイは最大16台まで登録できます。

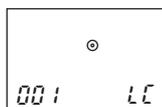
- ⑤登録完了後、再度 **換気モード** と **フィルター** ボタンを同時に2秒以上押すと、初期登録モードを解除し、通常モード停止画面となります。

検索のしかた

- ⑥本リモコンに登録されているロスナイのアドレスを表示します。②の画面あるいは④の画面にて **フィルター** ボタンを押すことに登録されているロスナイまたは加熱加湿付ロスナイのアドレスとその属性「LL」または「LH」が表示されます。登録ロスナイが1台もない場合は、アドレス表示部に「---」が表示され、属性表示部は何も表示されません。

登録抹消のしかた

- ⑦本リモコンに登録されているロスナイのアドレスを抹消します。
④の画面あるいは検索完了時(登録ロスナイあり)の画面にて **運転/停止** ボタンを2秒以内に2度続けて押すと、表示されているロスナイは本リモコンより登録抹消されます。登録ロスナイが1台もない場合は、アドレス表示部に「HO」が表示され、属性表示部は何も表示されません。



上記画面にて **運転/停止** ボタンを2秒以内に2度続けて押す

正常登録抹消処理完了により属性表示部が「--」となります。正常抹消できない場合は属性表示部に「88」が点滅表示されます。ロスナイ設定アドレスを再確認あるいは配線確認してください。

お願い

- リモコンへのロスナイ登録は最大16台までとなります。
- 正常登録/正常抹消ができない場合は、登録あるいは抹消対象のロスナイが未配線またはアドレスの誤設定が考えられます。配線確認、アドレス設定確認を行ってください。

試運転

ロスナイ・外部機器などの据付け後、システムの試運転を行ってください。リモコンスイッチは通電されれば「HO」を点滅(45秒以内)後、運転開始状態になります。下記の要領で各ボタンを押して正常に運転されるかを確認してください。

	操作部	表示部	手順
1			ロスナイに電源を供給します。(「HO」が45秒以内点滅)
2	運転/停止		運転ボタンを押します。(運転ランプが点灯し、ロスナイが運転開始)
3	換気モード	換気 自動 熱交換 普通	換気モード切換ボタンを押します。(押すたびに「換気-自動」→「換気-熱交換」→「換気-普通」と切り換わる)
4	風量調節	 弱 強	風量切換ボタンを押します。(押すたびに強・弱が切り換わる)
5	加湿	加湿	加湿ボタンを押します。(運転表示部に加湿と表示され、加湿運転開始)再度加湿スイッチを押すと表示部の加湿表示が消え、加湿運転を停止します。
6	運転/停止		運転ボタンを押します。(運転ランプが消灯し、ロスナイが運転停止)

- 換気モード切換ボタンを押したとき、ダンパー動作が切り換わるのに40秒以内の時間が必要です。
- 設定する機能がないボタンを押した場合、「この機能はありません」と表示されます。

強制加湿運転のしかた

- ① **運転/停止** ボタンを押して運転状態にし、 **加湿** ボタンを5秒間押し続けると本リモコンから強制加湿運転をさせることができます。
②強制加湿運転中、 **加湿** ボタンまたは **運転/停止** ボタンを押すか、30分経過後、強制加湿運転を解除します。



中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。